

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
【発行日】平成24年12月27日 (2012.12.27)

【公開番号】特開2011-85904(P2011-85904A)  
【公開日】平成23年4月28日 (2011.4.28)  
【年通号数】公開・登録公報2011-017  
【出願番号】特願2010-182876(P2010-182876)  
【国際特許分類】

G 1 0 L 21/02 (2006.01)

【 F I 】

G 1 0 L 21/02 1 0 1 Z

G 1 0 L 21/02 1 0 1 B

【誤訳訂正書】  
【提出日】平成24年11月7日 (2012.11.7)  
【誤訳訂正 1】  
【訂正対象書類名】明細書  
【訂正対象項目名】0 0 0 1  
【訂正方法】変更  
【訂正の内容】  
【 0 0 0 1 】

本発明は一般に音響的 (acoustically、以下、聴覚的という。)に感知された信号の処理に関する。

【誤訳訂正 2】  
【訂正対象書類名】明細書  
【訂正対象項目名】0 0 0 6  
【訂正方法】変更  
【訂正の内容】  
【 0 0 0 6 】

人間の頭脳内の処理により生じる方法で音声信号の精度を高める手法も存在する。それらは一般に計算機による聴覚情景解析 (CASA) と称される。人間は異なる同時の音声を区別して 1 つの音源に集中することができることが分かっている。それを支える仕組みは様々な時間周波数領域を 1 つの音源に結び付け或いはグループ分け (group、以下、グループピングという)するように働くことのできる手がかりに基づいて信号を分離できることである。そのような手がかりは例えば、基本周波数、空間内の位置、或いは共通オン及びオフのセットである。